

乳がん検診に新たな選択肢が登場！

無痛 MRI乳がん検診 ドゥイブス・サーチ

2040

ドゥイブス・サーチ

MRIを用いた乳がんの検査です。検査着のまま乳房の部分がくり抜かれた寝台にうつ伏せになり、装置に入って撮影します。



「痛い」「恥ずかしい」というイメージから抵抗のある方が多い乳がん検診。

八千代総合健診センターでは、そういった不安を解消し安心して受けられる『無痛MRI乳がん検診 (ドゥイブス・サーチ)』を新たに導入しました。痛みや恥ずかしさから乳がん検診に抵抗があった方、検診に興味はあるけれど一歩踏み出す勇気がなかった方、当センターで検診を受けてみませんか？

特 徴

ドゥイブス・サーチ

無痛MRI乳がん検診



痛くない
見られない

検査着のまま乳房部分がくりぬかれたベッドにうつ伏せになって検査を行います。乳房を挟まないで痛みがなく、素肌を見せる必要もありません。



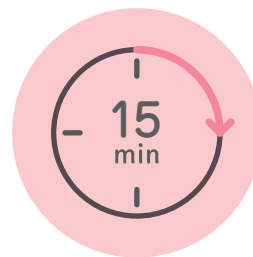
被ばくしない

磁気を利用したMRI検査で造影剤も使用しないため、放射線被ばくのリスクがありません。若い世代の方でも安心して繰り返し検査を受けられます。



精度が高い

MRI乳がん検査は乳腺濃度の影響を受けにくい、死角が少ないといった特徴があります。日本人女性に多い高濃度乳房の方にも適しています。



検査時間が短い

検査時間は約15分。病院滞在時間は1時間程度なので、家事や仕事で忙しい方にもおすすめです。検査にあたり食事制限や特別な準備も必要ありません。

乳がん検診



MRI検査という手法が加わったことで、乳がん検診の選択肢が増えました。これまで乳がん検診をためらっていた方もご自分にあったものを選択し、検診を習慣化しましょう。

Q

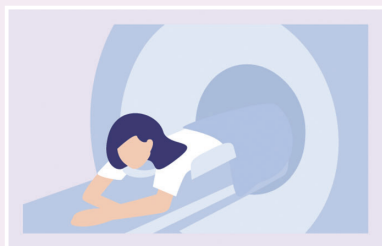
MRI乳がん検査は、マンモグラフィやエコー検査とどのような違いがありますか？

A

NEW

非造影MRI検査(磁気)

強い磁力を発生するMRI装置を用いて乳房を断面で撮影し、腫瘍と正常な組織とを判別します。



メリット

- 検査時に痛みはなく、着衣で撮影するため乳房を見られることはありません。
- 放射線被ばくがありません。
- 乳腺濃度の影響を受けません。

デメリット

- 受けられる医療施設が限られており、マンモグラフィやエコー検査と比較して料金が高めです。
- 閉所恐怖症の方や、体内に金属が埋め込まれた方は受けられない場合があります。

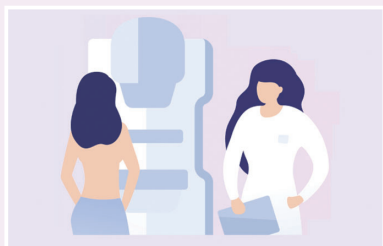
当センター料金 **19,800円(税込)**

このように

若い方、乳腺濃度が高い方(高濃度乳房)、乳房のインプラント手術を受けた方などに向いています。

マンモグラフィ検査(X線)

乳房撮影専用のX線装置で、乳房内の腫瘍(しこり)や乳がんが作る石灰化の有無を調べます。



メリット

- 「しこり」や「石灰化」のように触れることのできない小さな病変を写し出すことができます。
- 40歳以上の方は住民検診などで少額の負担で受けられます。

デメリット

- 乳房を圧迫する際に痛みを感じる方もいます。
- X線を使用するため少量の放射線被ばくがあります。
- 高濃度乳房の方は、乳がんを見つけにくい場合があります。

▶ 次頁参照

当センター料金 **5,500円(税込)**

※住民検診や健康組合の制度利用の場合、自己負担金1,000円程度

このように

シニア層で閉経後の方、乳腺濃度の低い方はマンモグラフィが適しています。

エコー検査(超音波)

超音波を乳房にあて、反射して返ってくる信号を画像化して、病変の有無や性状を調べます。



メリット

- 痛みなどの身体への負担がなく、簡便に行えます。
- 被ばくの心配がないため、妊娠中でも検査を受けられます。
- 乳腺濃度の影響を受けません。

デメリット

- がん以外の良性の病変も見つかりやすいため、再検査となる可能性が高くなります。
- 検査技師や超音波装置による技術差が結果に影響しやすいという課題があります。

当センター料金 **5,500円(税込)**

このように

高濃度乳房の方には、マンモグラフィとエコー検査の併用、または非造影MRI検査がすすめられます。

どの検査方法もそれひとつで100%病気を発見できるというものではありません。当センターでは年齢や乳がんの家族歴などをうかがった上で、お一人おひとりに適した検査方法をご提案します。まずはご相談ください。

Q 乳がん検診はいつから、どのくらいの頻度で受けたらよいのでしょうか？

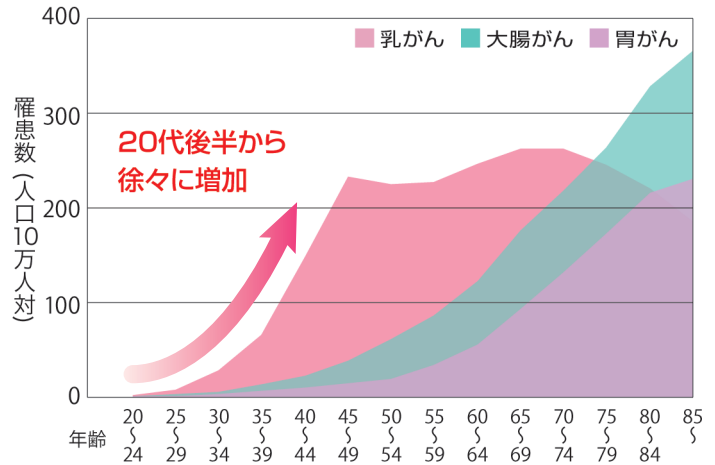
A 国は40歳以上の女性に対して2年に1度、マンモグラフィによる乳がん検診を受けることをすすめています。しかし、乳がんの罹患数は25歳頃から徐々に上昇します。血縁関係の近い家族が乳がんにかかった方は、早期発見のため40歳になるのを待たずに検診を受けることをおすすめします。

国の対策型検診では、放射線被ばくの影響をなるべく避けるために、40歳未満のマンモグラフィは推奨していません。放射線を使用しないMRI検査なら、若い女性でも安心して繰り返し受けていただけます。

女性の年齢別がん罹患数比較 (2019年)

◎乳がんは日本人女性のがん罹患数1位

◎9人に1人が生涯で乳がん罹患



(出典) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

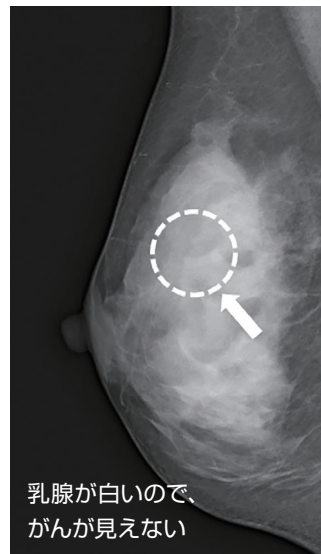
Q 以前、マンモグラフィの検診で高濃度乳房だと言われたのですが…

A 日本人女性は乳腺が発達していて欧米人に比べ高濃度乳房の人が多いといわれており、50歳以下では80%近くが高濃度乳房だという報告があります。

高濃度乳房の場合、乳腺組織が白く写るマンモグラフィでは乳腺全体が白く見え、がんも同じように白く写るので見つかりにくいという傾向があります。一方、MRI検査は乳腺濃度の影響を受けにくく、マンモグラフィで見分けのつきにくいがんも発見しやすいという特徴があります。

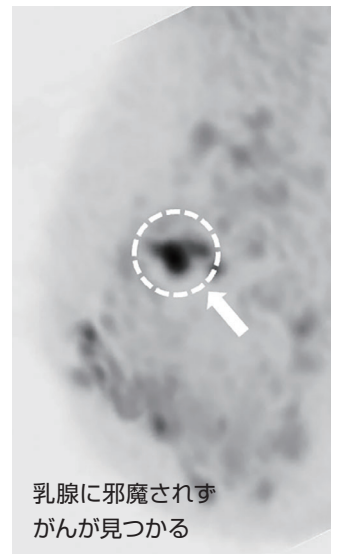
高濃度乳房の方には、マンモグラフィと超音波検査の併用、またはMRI検査が適しています。

マンモグラフィ



乳腺が白いので、がんが見えない

MRI検査



乳腺に邪魔されずがんが見つかる

ご予約はWEBからお願いします。

ドゥイブス・サーチ公式サイトから、24時間ネット予約が可能です。

<https://www.dwibs-search.com/clinic/八千代病院>



お問い合わせ

八千代総合健診センター

受付時間 …… 月曜日～金曜日／8:30～16:30 (休診日を除く)

第2・4・5土曜日／8:30～12:00 (休診日を除く)

電話番号 …… 健診センター直通 TEL. 0566-98-3367

